



世田谷区

| | |
|---------|---------------------------|
| 面積 |58.05km ² |
| 世帯数 |491,159世帯 |
| 人口 |917,145人 |
| (うち外国人) |20,977人 |
| 予算 |3,336億円 |
| 職員数 |5,499人 |



等々力渓谷

武蔵野台地の南端を谷沢川が侵食してできた、延長約1kmの23区内唯一の渓谷です。



世田谷 ポロ市

12月、1月の年2回開催。ポロ市通りには700店以上の露店が並び、約20万人の人で賑わいます。



国分寺崖線

多摩川が10年以上かけて武蔵野台地を削り取ってきた崖の連なりには、樹林や湧水等の豊かな自然環境が残り、大きな自然の営みと歴史の流れを肌で感じることができま

歴史・見所・名所

世田谷区は、東京市の市域拡張により、荏原郡の世田ヶ谷町・駒沢町・玉川村・松沢村が合併して、昭和7(1932)年に誕生し、4年後の昭和11(1936)年に北多摩郡の砧村・千歳村が編入され、ほぼ現在の区域となりました。「世田谷」の地名は、吉良氏が永和2(1376)年に鎌倉の鶴岡八幡宮に上弦巻の半分を寄進した際の文書に初めて見られます。また、室町時代の北条氏の楽市を起源とする「ボロ市」は、今でも多くの人で賑わっています。

世田谷の区域は、江戸時代より都市近郊の農作物の供給地として発展し、鉄道の開通とともに、近郊農村から郊外住宅地へと変遷してきました。今日では、成城などの閑静な住宅地、下北沢、三軒茶屋、二子玉川などの活気ある商業地に加え、国分寺崖線や等々力渓谷などの豊かな自然にも恵まれ、さらに美術館、劇場、ライブハウスなどの文化施設が点在する、賑わいと文化、みどりが共存するまちとなっています。

概要

世田谷区は23区の西南端に位置しており、面積は23区内第2位の大きさです。鉄道7路線が走り、東西に国道246号線・世田谷通り・甲州街道、南北に環状七号線・環状八号線が通っています。

平成29(2017)年には人口が90万人を超え、人口、世帯数とも23区内第1位です。東京都内で最も多くの人々が暮らす大都市でありながら、国分寺崖線に代表される樹林地や湧水地など、豊かな自然と公園が多い地域としても知られています。400ヶ所を超える公園があり、区制100周年を迎える2032年までに、みどり率33%を目指す「世田谷みどり33」の取組みを行っています。

区内には128の商店街があり、活気ある個性的な商店街の宝庫であり、各商店街が活性化に取り組んでいます。

三軒茶屋から下高井戸までのわずか約5kmを16分で結ぶ世田谷線は、都内で2つしかない軌道線のひとつです。沿線には幕末にゆかりのある史跡や、暮らしに根付いた商店街、個性なお店などの見所が満載です。2両連結ならではののんびりした走りは、日常のあわたたしさを忘れ、ゆったりとした時間の流れを思い出させてくれます。

主要課題・将来展望

10年間の区政運営の基本的指針となる「世田谷区基本計画」では、以下の6つの重点政策を掲げました。各政策を確実に実行するために

は、計画の着実な推進、執行体制の整備、地域行政の推進、財政運営、行政経営改革が必要です。

なかでも行政課題が増大し、複雑化・多様化する今日においては、近隣自治体をはじめ交流自治体と関係を深め、互いの強み・特色を活かし、相互の課題解決に寄与する取組みが重要です。世田谷区では、区民の「第二のふるさと」群馬県川場村との区民健康村事業、移動教室、訪問交流学习等により、長年、連携・協力関係を構築してきました。また、川場村や長野県とともに再生可能エネルギー利用の促進に取り組みなど、数多くの自治体との連携を進めています。今後も交流自治体と連携し、広域的な課題解決に取り組み、「子どもが輝く 参加と協働のまち せたがや」を目指します。

【6つの重点政策】

1 子ども若者が住みたいまちづくり、教育の推進

区では、「子どもを生み育てやすいまち」をめざし、妊産婦や子育て家庭に寄り添いながら切れ目なく支援するために「世田谷版ネウボラ」を実施しています。地域に根ざした質の高い教育環境を充実させ、子どもたちが個性や能力を発揮できる機会を提供します。児童相談所の設置に伴い、一元的かつ地域の支援を最大限に活用した児童相談行政をめざします。中高生世代の活躍の場を開くとともに、若者へと切れ目のない支援のしくみをつくります。

2 高齢者・障害者等の在宅生活を支え、孤立させないための地域包括ケアシステムと住まい

出張所・まちづくりセンターに身近な福祉の相談窓口を開き、専門家等が適切な支援を行い、高齢者・障害者等を地域で包括的に支えるケア体制をつくります。

3 安全で災害に強いまちづくり

災害に強い街づくりを目指して、建築物耐震化や不燃化を進め、避難路や緊急輸送道路の整備、延焼遮断帯の形成を進めます。木造住宅密集地域での不燃化を東京都と連携して促進します。気候変動に伴う集中豪雨被害軽減のため豪雨対策を進めます。

4 自然の恵みを活かして小さなエネルギーで暮らす豊かなまちの実現

環境に配慮したライフスタイルへの転換と再生可能エネルギー利用の促進を進めます。みどりを守り・増やす取組みを進め、みどりの質の向上を図ります。環境と調和した産業施策を展開し、職住近接を進めます。

5 世田谷の文化の創造と知のネットワークづくり

区内に点在する多彩な文化・芸術資源をつなげ、世田谷の文化を区内外へ広く発信し、まちの魅力とにぎわいの創出につなげます。図書館と文化施設・区内大学との連携を深め、図書館を多世代が集う知と学びと文化の情報拠点とします。区民が生涯を通じて学び、文化・スポーツに親しむ機会を増やします。

6 豊かなコミュニティ活動の発展と住民自治の推進

都市化のなかで拡散し、希薄となる地域コミュニティを、参加、協働、ネットワークでつなぎ、住みやすく安心できる地域をつくります。



世田谷線

環状七号線を横切る世田谷線。赤信号のときは、世田谷線も車と一緒に信号待ちします。



世田谷246ハーフマラソン

国道246号線と多摩川を間近に眺めることのできる多摩堤通りなど、様々な景色を楽しめるコースとなっています。



下北沢音楽祭

地元の商店街とライブハウスが一体となり盛り上げる、「異世代共存響声」がテーマの音楽祭です。